

2020年10月11日
資産形成フェスタ2020

KJ法を使って経済を先読み

第一生命経済研究所
首席エコノミスト
熊野英生

K J 法とは何か？

川喜田二郎氏（1920～2009年）が開発した発想法。
命名はKawakita Jiroのイニシャル。

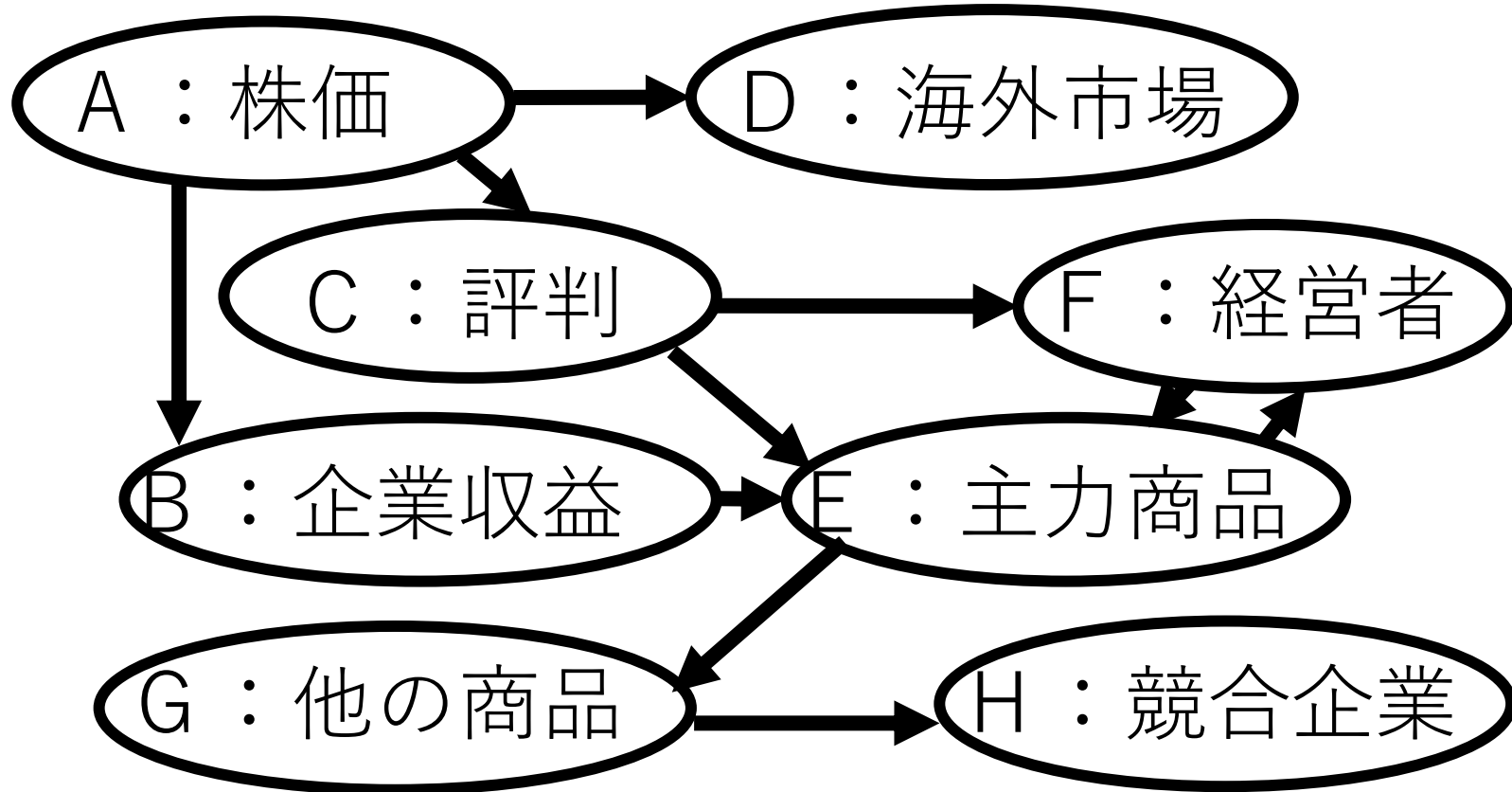
→私たちが次々に出現する事件、課題を解釈
するための発想ツール

例 1月23日 武漢でコロナ封鎖
8月28日 安倍首相が辞任
10月2日 トランプ大統領コロナ感染

KJ法とは何か？

→ブレインストーミングの一種

…ひとりで考えられる



K J 法とは何か？

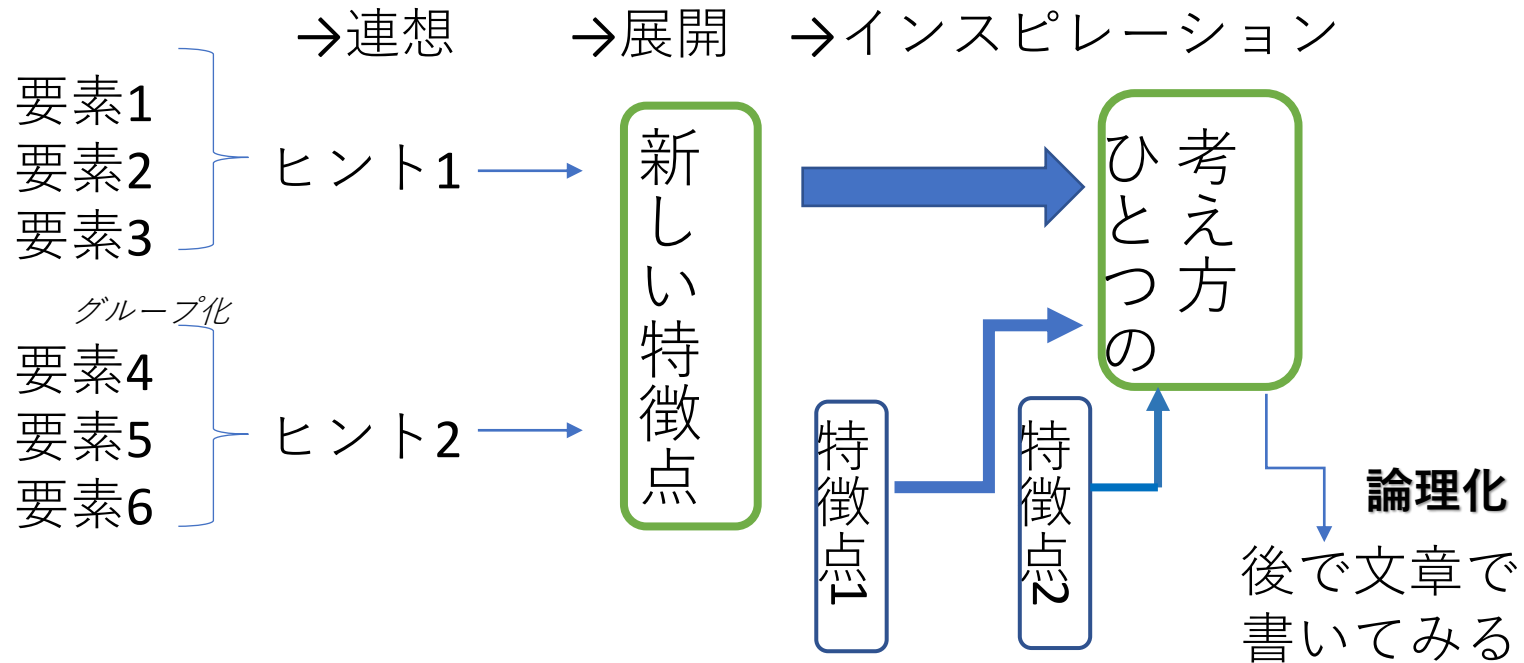
ブレインストーミングのルール

- ・ 自由奔放に書き出す
- ・ 間違いや批判を恐れない
- ・ 頭に浮かんだことを書き出す
- ・ 書いたことから連想を広げる
- ・ 書いたことを結合させていく
- ・ 連想から次の連想に進む

KJ法とは何か？

構造計画：グループ化して流れを描く

量を書き出す



KJ法とは何か？

事例研究 ……トランプ大統領のコロナ感染



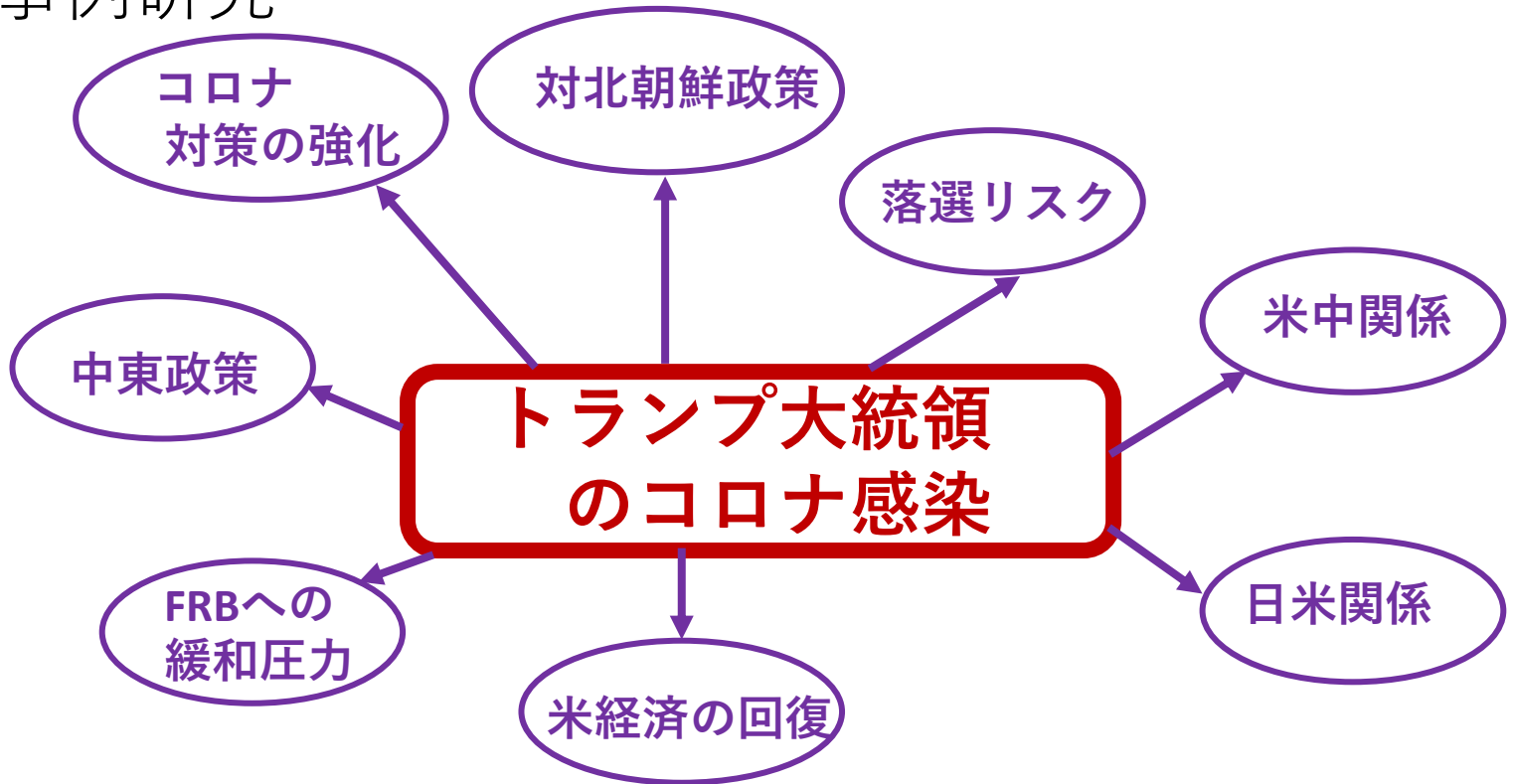
発散性思考を使って考える

テーマ

**トランプ大統領
のコロナ感染**

KJ法とは何か？

事例研究



事例研究

バイデン大統領になったとすれば

<グループ化>

変わるもの

- ・対北朝鮮政策
- ・米中関係
- ・日米関係
- ・米経済の回復

連想

変わらないもの

- ・コロナ対策
- ・中東政策
- ・FRBへの緩和圧力
- ・グローバル化

- ・法人税増税で株価下落
- ・米国内への製造業回帰は失敗
- ・日本の役割は重く
- ・軍事的緊張は高まる
- ・米国の日本重視
- ・新しい貿易協定に動く
- ・米企業はアジアのサプライチェーンを見直す
- ・アジア諸国も中国離れ

展開

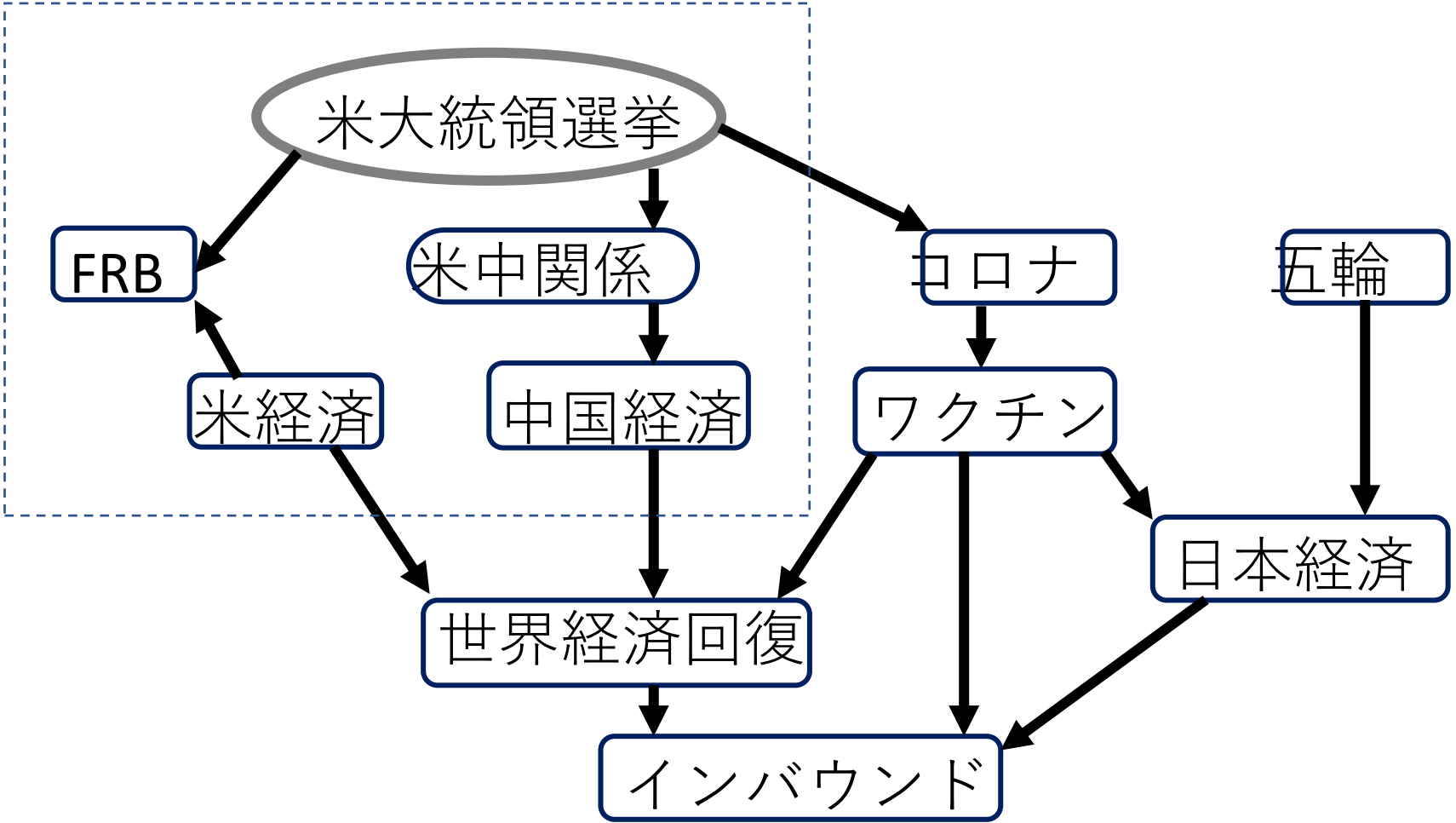
- ・株価下落は一時的
- ・グローバル化は進む。
- ・米企業との取引先は、ベトナム、タイなどへ工場シフト。
- ・日本企業は、部品供給、技術開発、工場進出のチャンス。

事例研究

中国ならばバイデン大統領に どう対処するか？

- ・ 対立から融和に舵を切る
 - 人権問題の摩擦を控える
 - 米国と新しい協定づくりをする
 - 覇権主義は一時中断
- ・ 中国製造2025の路線を強化
 - バイデン大統領と対峙
 - 日本企業へのメリット乏しい

日本経済への影響はどうか？



発想法を使って展開をまとめる

→シナリオづくり

メインシナリオ：バイデン大統領の下、米中関係は新しい展開に。
日本経済は、中国包囲網の中でビジネスチャンス。
中国は姿勢を軟化させ、徐々に米国とも関係改善。

サブシナリオ：コロナ・ワクチンの完成・普及により、悲観シナリオは遠のく。日本は再びインバウンド需要で潤う。

リスクシナリオ：中国は人権問題で妥協せず、覇権主義を強める。
ワクチンができて、インバウンドは復活せず。
バイデン大統領も成果が得られず、日米関係も改善せず。
経済の低調。